



石川県津幡町 資料提供

令和7年1月17日
津幡町消防本部 予防課
担当: 笹嶋 誠志
☎076-288-3000

第71回文化財防火デー火災防ぎょ訓練の実施について

1. 概要・目的など

文化財を火災、震災、その他の災害から守るため、町民の文化財愛護思想の高揚と防火、防災協力体制の整備を図ることを目的とする。

2. 開催日時・日程

令和7年1月26日(日)午前8時30分～9時00分

3. 場所

津幡町字竹橋ク128番地 倶利伽羅不動寺鳳凰殿

4. 出席者

倶利伽羅不動寺鳳凰殿、津幡町教育委員会
竹橋区、刈安地区自主防災クラブ
津幡町消防本部・署、津幡町消防団本部・倶利伽羅分団

5. その他（注意事項など）

第7 1回文化財防火デー火災防ぎょ訓練実施要綱

1. 訓練目的 文化財を火災、震災、その他の災害から守るため、町民の文化財愛護思想の高揚と防火、防災協力体制の強化を図ることを目的とする。
2. 実施日時 令和7年1月26日(日) 午前8時30分～9時00分
3. 実施場所 俱利伽羅不動寺鳳凰殿 津幡町字竹橋ク128番地
4. 訓練種目 ① 通報訓練 ② 初期消火訓練 ③ 指揮命令伝達訓練
④ 無線交信訓練 ⑤重要物件搬出訓練
5. 想定 俱利伽羅不動寺鳳凰殿三仏堂より煙が出ているのを発見した住職は直ちに消防機関に通報し、俱利伽羅不動寺鳳凰殿職員とともに屋内消火栓にて初期消火を実施する。
6. 実施機関 俱利伽羅不動寺鳳凰殿
竹橋区、刈安地区自主防災クラブ
津幡町消防本部・署、津幡町消防団本部、俱利伽羅分団
7. 待機場所 道の駅俱利伽羅源平の郷 駐車場
(8時00分までに、待機すること。火災防ぎょ訓練体系図参照)
8. 覚知別 三仏堂より白煙が上がっているのを発見した俱利伽羅不動寺の従業員は携帯電話にて消防機関(金沢市消防局指令センター)へ通報する。
9. 出動指令 訓練開始時刻に津幡町消防本部より、無線にて出動指令を行う。
(町波2) ※署1車載無線は町波1、携帯無線町波2
10. 出動要領 無線にて出動指令を受け、待機場所(火災防ぎょ訓練体系図参照)から赤色灯及びサイレンを吹鳴して出動する。(訓練出動各隊は津幡町消防本部に開局の無線を入れること。)(町波2)

※俱利伽羅分団→署1号車の順に待機場所から出動。

- 署1号車は、鳳凰殿本堂前に部署し、竹橋4号防火水槽に部署した俱利伽羅分団から中継を受け1線放水し、本堂の消火にあたる。
- 俱利伽羅分団は、竹橋4号防火水槽に部署し署1号車へ中継送水した後、署1号車から1線放水し、本堂の消火にあたる。
- 刈安地区自主防災クラブ員は訓練待機場所から軽四トラックにて小型動力ポンプを搬送し、竹橋4号防火水槽に部署し、ホースを延長し1線放水する。
- 俱利伽羅不動寺鳳凰殿関係者は、通報後屋内消火栓にて初期消火を行うとともに、重要物件の搬出を実施する。

1 1. 現場本部 事前に設置する。(火災防ぎょ訓練体系図参照)

1 2. 閉 会 式	挨拶	津幡町教育部長	宮崎 寿
	挨拶	俱利迦羅不動寺住職	五十嵐 光峯
	講評	津幡町消防長	松本 聖史
	指揮	津幡町消防本部	南 博志
	進行		笹嶋 誠志

※ 閉会式は、俱利迦羅不動寺鳳凰殿駐車場にて実施する。

注意事項

- 待機場所から赤色灯及びサイレンを吹鳴し、出場する。
- 現場到着後、訓練出動隊の隊長は現場本部に口頭で到着報告をする。
※署 1 号車隊長 ⇒ 消防長へ報告
俱利伽羅分団 ⇒ 消防団長へ報告
- 機関員は特に交通事故等に十分注意すること。
- 建物への放水は行わず、空地に直上放水すること。
- 訓練終了後署 1 号車にて防火水槽の補給を行う。

R 7 文化財防火デー火災防ぎょ訓練体系図

